

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	芸術文化に親しむひょうご推進事業（平成23年度～）				連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額		2年度決算額		3年度当初予算額		4年度当初予算額	
	事業費①	5,894千円		1,510千円		17,350千円		8,040千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	5,894千円		1,510千円		17,350千円		8,040千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	（0千円）		（0千円）		（0千円）		（0千円）
		（県債）	（0千円）		（0千円）		（0千円）		（0千円）
		（その他〔芸術文化振興基金〕）	（5,894千円）		（1,510千円）		（17,350千円）		（8,040千円）
		（一般財源）	（0千円）		（0千円）		（0千円）		（0千円）
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人
			2,520千円		2,489千円		2,621千円		2,586千円
職員給与費 a		2,181千円		2,156千円		2,282千円		2,253千円	
賞与引当金繰入額 b		175千円		174千円		175千円		174千円	
退職手当引当金繰入額 c		164千円		159千円		164千円		159千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
		8,414千円		3,999千円		19,971千円		10,626千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[10,090千円]		[0千円]	
事業目的	地域に偏ることなく、県内全体において、身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を実現させることで人々の暮らしに潤いをもたらすとともに、芸術文化の振興を目指す。								
事業目的の達成度を示す指標	補助件数 （R元まで：地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI） （R2～：地域創生アクションプラン（事業KPI）、事業見直しにより指標変更）	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		115	79	150	79	79	
		実績（見込）		82	21	(92)	(79)	【令和6年度】	
		（単位当たりコスト）		(103千円)	(190千円)	(217千円)	(135千円)		
	[うち事業拡大分]		-	-	[110千円]	-			
	達成率（見込）		71.3%	(26.6%)	(61.3%)	(100.0%)			
	鑑賞者数 ※きっかけづくり応援事業（～R元実施事業）を除く	目 標		47,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
		実績（見込）		33,883	8,739	(33,546)	(40,000)		
（単位当たりコスト）			(0.2千円)	(0.5千円)	(0.6千円)	(0.3千円)			
[うち事業拡大分]			-	-	[0千円]	-			
達成率（見込）		72.1%	21.8%	83.9%	100.0%				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の芸術文化活動のすそ野を広げ、芸術文化に親しむ機会や場を充実させるため、県内芸術家の芸術活動や地域で気軽に芸術文化にふれる機会を提供する取組に支援を行った。</li> <li>・ 支出内容が明確な会場費（公演、展示事業）、印刷費（出版事業）を補助対象経費として定額を補助することで効率的な事業実施を図った。</li> <li>・ R3年度は、芸術文化振興ビジョン改定年度であるとともにコロナ禍からの芸術文化活動の再開のため、単年度に限り補助額や採択件数を拡充した。R4年度は、R2年度並みの補助件数に戻し、引き続き支援を継続していく。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	県民芸術劇場の開催（平成3年度～）			連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	35,985千円	40,410千円	28,770千円	17,896千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	35,985千円	40,410千円	28,770千円	17,896千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔芸術文化振興基金等〕）	(35,985千円)	(40,410千円)	(28,770千円)	(17,896千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			840千円	830千円	874千円	862千円		
		職員給与費 a	727千円	719千円	761千円	751千円		
賞与引当金繰入額 b		58千円	58千円	58千円	58千円			
退職手当引当金繰入額 c		55千円	53千円	55千円	53千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		36,825千円	41,240千円	29,644千円	18,758千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[3,984千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	小学生、高校生、一般を対象に、芸術文化団体等による公演、ワークショップ等を通じて、優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会を提供する。							
事業目的の達成度を示す指標	県民芸術劇場の公演数	指標	110	130	93	60	最終目標【年度】	
		実績（見込）	108	46	(69)	(60)		
		（単位当たりコスト）	(341千円)	(897千円)	(430千円)	(313千円)		
		[うち事業拡大分]	-	[87千円]	-	-		
		達成率（見込）	98.2%	35.4%	(74.2%)	(100.0%)		
	県民芸術劇場の鑑賞者数 （21世紀兵庫長期ビジョン フォローアップ指標） ※県民文化普及事業との 合算	指標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
		実績（見込）	89,806	30,777	(120,000)	(120,000)		
		（単位当たりコスト）	(0.4千円)	(1.3千円)	(0.2千円)	(0.2千円)		
		[うち事業拡大分]	-	[0.1千円]	-	-		
		達成率（見込）	74.8%	25.6%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<p>・都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地（R3：24市8町）で鑑賞の機会を提供するとともに、県内の公立文化施設等の活性化も図るため支援が必要であり、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。</p> <p>・R3年度の公演数は、新型コロナウイルスの影響により中止が相次いだため目標を下回っている。今後も市町等との連携を図りながら、より多くの県民が優れた舞台芸術を鑑賞、参加・体験できる機会を提供していく。</p> <p>・R4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校での公演が困難と考えられるため、学校公演の件数を減らした。代替事業として、地域の文化ホールが学生等に一定数の座席を無料開放する舞台公演事業を支援するなど、身近な場所で優れた舞台芸術を鑑賞機会を提供することで、事業目的は担保されている。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班				
事業名	芸術文化センター創造・公演事業（平成17年度～）				連絡先	078-362-3146				
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額		2年度決算額		3年度当初予算額		4年度当初予算額		
	事業費①	380,000 千円		365,000 千円		380,000 千円		380,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	380,000 千円		365,000 千円		380,000 千円		380,000 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[宝くじ収益金、事業基金等])	(380,000千円)		(365,000千円)		(380,000千円)		(380,000千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	12.0人		12.0人		12.0人		12.0人	
			100,788 千円		99,564 千円		104,820 千円		103,428 千円	
		職員給与費 a	87,252 千円		86,256 千円		91,284 千円		90,120 千円	
		賞与引当金繰入額 b	6,984 千円		6,960 千円		6,984 千円		6,960 千円	
退職手当引当金繰入額 c		6,552 千円		6,348 千円		6,552 千円		6,348 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	12.0人		12.0人		12.0人		12.0人		
		480,788 千円		464,564 千円		484,820 千円		483,428 千円		
	[うち事業拡大部分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供する。									
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】			
			芸術文化センター自主公演入館者数	目 標	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
		実績(見込)	317,935	90,664	(169,000)	(300,000)				
		(単位当たりコスト)	(2 千円)	(5 千円)	(3 千円)	(2 千円)				
		[うち事業拡大部分]	-	-	-	-				
		達成率(見込)	106.0%	30.2%	(56.3%)	(100.0%)				
	年間ホール稼働日数	目 標	200	200	200	200	200			
		実績(見込)	321	228	(296)	(306)				
		(単位当たりコスト)	(1,498 千円)	(2,038 千円)	(1,638 千円)	(1,580 千円)				
		[うち事業拡大部分]	-	-	-	-				
	達成率(見込)	160.5%	114.0%	(148.0%)	(153.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響のため事業中止が相次いだことにより、例年に比べR2年度の総コストが低くなっているが、各指標の単位当たりコストは増加している。</li> <li>・ R元～3年度については、新型コロナウイルス感染症により、事業の中止・延期を余儀なくされているが、拡大予防対策を講じながら公演を実施しており、芸術文化の普及・振興と、地域の活性化に寄与している。</li> <li>・ 特にR2年度はコロナウイルス感染症の影響により、年間ホール稼働日数が大幅に減少したが、それでも開館当初からの目標値は上回っており、R3年度については改善する見込み。</li> </ul>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調査

施策体系		充実する「自分時間」			所管課班		芸術文化課企画運営班							
事業名		兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施(平成17年度～)			連絡先		078-362-3146							
事業に要するコスト	区分		元年度決算額		2年度決算額		3年度当初予算額		4年度当初予算額					
	事業費①		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円					
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		委託料	85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円		85,000 千円					
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(その他[観覧料等事業収入、宝くじ等])	(54,508千円)		(50,516千円)		(60,000千円)		(60,000千円)					
		(一般財源)	(30,492千円)		(34,484千円)		(25,000千円)		(25,000千円)					
	人件費② (a+b+c)		従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人				
			72,232 千円		71,354 千円		75,121 千円		74,123 千円					
	職員給与費 a		62,531 千円		61,817 千円		65,420 千円		64,586 千円					
	賞与引当金繰入額 b		5,005 千円		4,988 千円		5,005 千円		4,988 千円					
退職手当引当金繰入額 c		4,696 千円		4,549 千円		4,696 千円		4,549 千円						
総コスト (①+②)		従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人	従事人員	8.6人					
		157,232 千円		156,354 千円		160,121 千円		159,123 千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的	陶芸をテーマとした展覧会を開催し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むと共に、古くから盛んであった兵庫県のやきものの伝統と文化、そして貴重な技術を次世代に伝えることを目的とする。													
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		元年度実績		2年度実績		3年度見込		4年度目標		最終目標【-年度】	
	施設内入場者数(地域創生戦略事業進捗指標)		目標		150,000		100,000		100,000		100,000		100,000	
			実績(見込)		114,660		51,058		(121,835)		(100,000)			
			(単位当たりコスト)		(1 千円)		(3 千円)		(1 千円)		(2 千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
	達成率(見込)		76.4%		51.1%		(121.8%)		(100.0%)					
	出前授業、展覧会鑑賞学習等の実施校数		目標		60		60		60		60		60	
			実績(見込)		48		25		(37)		(45)			
			(単位当たりコスト)		(3,276 千円)		(6,254 千円)		(4,328 千円)		(3,536 千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
達成率(見込)		80.0%		41.7%		(61.7%)		(75.0%)						
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波焼をはじめとする陶磁器産地を有する県として、陶芸文化の振興・普及を図るため、県民に陶芸作品を身近に鑑賞する機会を提供することが必要である。</li> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等による外出自粛や臨時休館、関連事業の開催中止などの影響で美術館全体の入場者及び展覧会入場者とも大きく減少した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、秋の特別展の人气が高かったことにもあり平年並みに回復する見込であり、引き続きガイドラインに基づき感染拡大防止措置をとりつつ、魅力的な特別展の企画や効果的な広報、イベント内容の充実などにより、入館者の確保を図っていく。</li> <li>・学校との連携についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、令和2年度に作成した事業を紹介したパンフレットを活用しながら、引き続き、さまざまな機会を通じて学校へのPRを進め事業実施回数の増加を目指していく。</li> </ul>													
3年目の見直し	-													

事務事業評価調書

施策体系		充実する「自分時間」			所管課班		芸術文化課企画運営班	
事業名		横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施（平成24年度～）			連絡先		078-362-3146	
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額		
	事業費①		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[宝くじ収益金])	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)		
		(一般財源)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人		
			51,234千円	50,612千円	53,284千円	52,576千円		
		職員給与費 a	44,353千円	43,847千円	46,403千円	45,811千円		
		賞与引当金繰入額 b	3,550千円	3,538千円	3,550千円	3,538千円		
	退職手当引当金繰入額 c	3,331千円	3,227千円	3,331千円	3,227千円			
総コスト (①+②)		従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人			
		75,234千円	74,612千円	77,284千円	76,576千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	横尾忠則氏の絵画を中心に、幅広く現代の表現に特化した展覧会を開催することを通して、世界的アーティストとの出会いを体験できる場を創出する。							
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		横尾忠則現代美術館入館者数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目 標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績(見込)	55,525	29,766	(39,799)	(70,000)	[6年度]	
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(3千円)	(2千円)	(1千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率(見込)	79.3%	42.5%	(56.9%)	(100.0%)		
	展覧会関連事業参加者数	目 標	1,500	1,500	1,500	1,500		
		実績(見込)	917	437	(379)	(1,500)		
		(単位当たりコスト)	(82千円)	(171千円)	(204千円)	(51千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率(見込)	61.1%	29.1%	(25.3%)	(100.0%)			
評価	<p>・横尾忠則氏から寄贈・寄託を受けた貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供する必要がある。作品の展示により現代美術の鑑賞者・愛好家のすそ野の拡大に寄与している。</p> <p>・横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあり入館者数は目標に達していないが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。展覧会関連事業についても、横尾氏と親交の深いアーティストによるイベント等を引き続き開催し、当館の新たなファン層の拡大を目指すとともに、事業内容の充実を図る。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策として昨年度同様にイベント中止、休館等の対応を行ったが、SNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、入館者数回復に向けた積極的な取組を行い効果をあげている。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調査

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室（平成27年度～）			連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	7,598千円	7,828千円	11,120千円	8,400千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	7,598千円	7,828千円	11,120千円	8,400千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[芸術文化振興基金]）	(7,598千円)	(7,828千円)	(11,120千円)	(8,400千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	2,586千円		
		職員給与費 a	2,181千円	2,156千円	2,282千円	2,253千円		
		賞与引当金繰入額 b	175千円	174千円	175千円	174千円		
退職手当引当金繰入額 c		164千円	159千円	164千円	159千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
		10,118千円	10,317千円	13,741千円	10,986千円			
	[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	伝統文化団体が、小・中・高校の授業において行う伝統文化の体験事業の実施を支援することによって、伝統文化の若年層への浸透を図る。							
事業目的の達成度を示す指標	子ども伝統文化わくわく体験教室実施校数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）） ※事業見直しによる指標変更	目標	60	80	70	60	80	
		実績（見込）	60	63	(69)	(60)	【令和6年度】	
		(単位当たりコスト)	(169千円)	(164千円)	(199千円)	(183千円)		
		[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
		達成率（見込）	100.0%	78.8%	(98.6%)	(100.0%)		
	子ども伝統文化わくわく体験教室開催回数（～R3）	目標	150	200	175	—	—	
		実績（見込）	134	142	(163)	—	—	
		(単位当たりコスト)	(19千円)	(18千円)	(16千円)	—	—	
		[うち事業拡大部分]	[0千円]	[73千円]	[0千円]	—	—	
		達成率（見込）	89.3%	71.0%	(93.1%)	—	—	
	住んでいる市町で芸術文化に接する機会があると思う人の割合（R4～） （第3期芸術文化振興ビジョン）	目標	—	—	—	50.0%	50.0%	
		実績（見込）	—	—	—	(50.0%)	【令和7年度】	
(単位当たりコスト)		—	—	—	(219千円)	—		
[うち事業拡大部分]		—	—	—	[0千円]	—		
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)	—		
評価	<p>・次代の日本の伝統文化を担う人材を確保し、伝統文化を学ぶことを通じて、心の豊かさや生活の潤いを育む機会を提供するために、小・中・高校内で複数回（2回または3回）実施する伝統文化の体験事業への補助が必要である。体験事業に必要な経費の一部を支援することで、学校及び地域文化団体による伝統文化を体験する事業の継続的な実施へつなげていく。</p> <p>・R2年度は、新型コロナウイルスの影響により目標を大きく下回ったものの、R3年度は、応募校数がR1年度並に戻り、概ね目標を達成する見込みである。開催回数については、学校の授業・行事計画等の都合で2回開催の希望が多く、目標を達成できていない。</p> <p>・R3年度は、従来の体験教室に加え、交通の便が悪い学校への対応や新型コロナウイルスによる都市部以外の講師不足の解消のため、各分野の指導動画を作成しYouTubeで公開した。指導動画の作成も踏まえ、R4年度は、実施校数を拡充したR2年度より前のR1年度並の実施校数及び開催回数に戻して、引き続き伝統文化の若年層への浸透を図る。</p>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	ひょうごの文化発信リーディング事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	16,190千円	8,099千円	10,180千円	0千円				
	経費内訳	報酬・賃金	987千円	966千円	977千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	15,000千円	6,930千円	9,000千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	203千円	203千円	203千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[芸術文化振興基金]）	(16,190千円)	(8,099千円)	(10,180千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.0人			
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	0千円			
		職員給与費 a	2,181千円	2,156千円	2,282千円	0千円			
		賞与引当金繰入額 b	175千円	174千円	175千円	0千円			
退職手当引当金繰入額 c		164千円	159千円	164千円	0千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.0人				
		18,710千円	10,588千円	12,801千円	0千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的	「ゴールデンスポーツイヤーズ」の開催に合わせ、本県の分厚い文化力を県内外に積極的に情報発信し、今後のモデルとなる取り組みを支援。								
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
	ひょうごの文化発信リーディング事業発信地区数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標）	目標	8	9	10	/		10	
		実績（見込）	8	5	(7)			【令和3年度】	
		（単位当たりコスト）	(2,339千円)	(2,118千円)	(1,829千円)			-	
		[うち事業拡大分]	-	-	-			-	
達成率（見込）	100.0%	55.6%	(70.0%)	-					
評価	<p>・国内外から注目を浴びる機会である「ゴールデンスポーツイヤーズ」の開催に合わせ、本県の分厚い文化力を県内外へ積極的に情報発信するとともに、次世代に誇れるレガシーを創出するため、そのモデルとなるような活動を行う団体を支援した。</p> <p>・令和2年度からは、新型コロナウイルスの影響で事業中止等が相次いだため目標を下回ったが、海外での展覧会の開催や兵庫県ゆかりの文化資源をテーマにした事業を実施し、国内外への兵庫の文化の発信につながった。</p>								
3年目の見直し	東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして実施していたため、令和3年度で廃止。								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課事業調整班			
事業名	舞台芸術鑑賞機会創出事業(令和4年度～)				連絡先	078-362-3171			
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	20,000 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	0 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	20,000 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	0 千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	—	—	(20,000千円)			
		(県債)	—	—	—	(0千円)			
		(その他[ ])	—	—	—	(0千円)			
		(一般財源)	—	—	—	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.1人
			—	—	—	862 千円			
		職員給与費 a	—	—	—	751 千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	—	58 千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	53 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.1人	
		—	—	—	20,862 千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	[0千円]				
事業目的	青少年に身近な場所で舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、県内アーティストに発表の機会を提供し活動の活性化を図る。								
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
			公演実施数(件)	目 標	—	—	—	40	40
		実績(見込)	—	—	—	(40)	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(522 千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率(見込)	—	—	—	(100.0%)			
	鑑賞者数(人)	目 標	—	—	—	8,000	18,800		
		実績(見込)	—	—	—	(8,000)	【令和6年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(3 千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)		—	—	—	(100.0%)				
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響による、青少年の舞台芸術の鑑賞機会や若手アーティストの活動機会の減少を踏まえ、文化ホール等が企画し座席の一定数を青少年向けに無料開放する舞台芸術公演を支援する。</li> <li>本事業の実施により、芸術を鑑賞する者の増加とアーティストの活動の活性化を目指す。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								



事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	芸術文化課企画運営班			
事業名	県民プレミアム芸術デーの開催（令和4年度～）				連絡先	078-362-3146			
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	5,400 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	5,000 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	0 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	400 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	—	（0千円）			
		（県債）	—	—	—	（0千円）			
		（その他[ ]）	—	—	—	（0千円）			
		（一般財源）	—	—	—	（5,400千円）			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人
—		—	—	—	8,619 千円				
職員給与費 a		—	—	—	7,510 千円				
賞与引当金繰入額 b		—	—	—	580 千円				
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	529 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	
	—	—	—	—	14,019 千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	[0千円]				
事業目的	県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施する「県民プレミアム芸術デーを創設」し、県民の芸術文化に触れる機会充実を図る。								
事業目的の達成度を示す指標	住んでいる市町で芸術文化に触れる機会があると思う人の割合【第3期芸術文化振興ビジョン】	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	—	—	—	50%	50%		
		実績（見込）	—	—	—	(50.0%)	【R7年度】		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(280 千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)				
	各施設入館者数（芸術文化センター、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場）	目 標	—	—	—	603,000	603,000		
		実績（見込）	—	—	—	603,000			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	(1 千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）		—	—	—	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立の芸術文化施設を特別展やイベントを含めて無料開放することにより、県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供する。</li> <li>・ 芸術文化に親しむ機会を増やすことにより、兵庫の魅力の再発見やふるさと意識に根ざした文化の継承・発展を図る。</li> </ul>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	ユニバーサル推進課社会参加支援班				
事業名	パラスポーツ拡大推進プロジェクト（令和4年度～） 障害者スポーツ推進プロジェクト（平成27年度～）		連絡先	078-362-3237				
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	39,874千円	43,145千円	45,644千円	27,557千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	37,572千円	40,076千円	44,644千円	27,557千円		
		補助金・交付金	0千円	730千円	1,000千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	2,302千円	2,339千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(11,278千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[ ]）	(11,278千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(17,318千円)	(43,145千円)	(45,644千円)	(27,557千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,200千円	4,149千円	4,367千円	4,310千円		
		職員給与費 a	3,636千円	3,594千円	3,803千円	3,755千円		
		賞与引当金繰入額 b	291千円	290千円	291千円	290千円		
退職手当引当金繰入額 c		273千円	265千円	273千円	265千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		44,074千円	47,294千円	50,011千円	31,867千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[1,067千円]			
事業目的	東京パラリンピックを契機として、一般県民においてもパラスポーツが競技として注目され、国際大会等で活躍できるパラアスリート育成の機運が高まっていることや、障害の有無や年齢に関わらず、ともに楽しむことができるスポーツの普及拡大が求められている。そこで、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が、2026年へ延期されることも踏まえ、これまでの事業を見直し、すべての人が参画し、ともに競技ができるスポーツの振興を図る。							
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		県内障害者スポーツ大会参加者数	目標	28,000	29,000	30,000	45,000	57,000
		※R2はコロナ禍で大会中止の影響もあり実績未集計	実績（見込）	42,524	-	(30,000)	(45,000)	【R8年度】
			(単位当たりコスト)	(1千円)	-	(2千円)	(1千円)	
		[うち事業拡大分]						
		達成率（見込）	151.9%	-	(100.0%)	(100.0%)		
	-	目標	-	-	-	-	-	
		実績（見込）	-	-	-	-	-	
(単位当たりコスト)		-	-	-	-	-		
[うち事業拡大分]		-	-	-	-	-		
	達成率（見込）	-	-	-	-	-		
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、パラスポーツを知り、始めるきっかけ作りとする出前講座や、専門的な技術指導等を受ける機会の少ないパラアスリートを多面的に支援するマルチサポート事業等を実施してきた。</li> <li>東京2020パラリンピックは終了し、ワールドマスターズゲームズが延期されることも踏まえ、これまでの事業を見直し、すべての人が参画し、ともに競技ができるスポーツの振興を図る。出前講座について、小・中学校のみを対象としていたが、小・中学校・企業・福祉団体に拡充した。また、マルチサポート事業について、WMG関西への参加を目指す障害者のみを対象としていたが、パラアスリート全般に拡充した。</li> </ul>							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	労政福祉課労政企画班		
事業名	ひょうご仕事と生活センター事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-4119		
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額		
	事業費①		155,921千円	239,814千円	239,120千円	262,739千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	142,633千円	149,797千円	153,120千円	159,590千円		
		補助金・交付金	12,282千円	88,937千円	84,000千円	101,150千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	1,006千円	1,080千円	2,000千円	1,999千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(56,429千円)	(62,438千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[勤労者福祉基金繰入金]）	(155,921千円)	(239,814千円)	(182,691千円)	(200,301千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）		従事人員 1.1人	従事人員 1.1人	従事人員 1.1人	従事人員 1.1人		
			9,239千円	9,127千円	9,609千円	9,481千円		
	職員給与費 a	7,998千円	7,907千円	8,368千円	8,261千円			
	賞与引当金繰入額 b	640千円	638千円	640千円	638千円			
退職手当引当金繰入額 c	601千円	582千円	601千円	582千円				
総コスト（①+②）		従事人員 1.1人	従事人員 1.1人	従事人員 1.1人	従事人員 1.1人			
		165,160千円	248,941千円	248,729千円	272,220千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	県内企業における人材確保や生産性の向上をもたらす、誰もが意欲と能力を十分に発揮して働くことができ、仕事と生活の充実をもたらす「ワーク・ライフ・バランス」の取組を全県的に推進するため、ひょうご仕事と生活センターを拠点として、普及啓発・情報発信事業、相談事業、研修企画・実施事業、実践支援事業等を実施する。							
事業目的の達成度指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
	研修実施企業数(件) (地域創生戦略事業KPI)	目 標	200	200	200	200	200	
		実績(見込)	209	115	(200)	(200)		
		(単位当たりコスト)	(790千円)	(2,165千円)	(1,244千円)	(1,361千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
	仕事と生活の調和推進認定企業数(社・累計) (地域創生戦略KPI)	目 標	240	300	360	420	540	
		実績(見込)	244	300	(366)	(420)	【R6年度】	
		(単位当たりコスト)	(677千円)	(830千円)	(680千円)	(648千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
	達成率(見込)	104.5%	100.0%	(101.7%)	(100.0%)			
評 価	・ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現を推進するための各種事業を実施することで、誰もが意欲と能力に応じた働き方を主体的に選択できる雇用就業環境の整備や、多様な人材の活躍と生産性向上により企業価値を高めていくことが必要であり、WLBの取組を拡大するために有効な事業である。 ・R2年度の研修実施企業数はコロナ感染拡大による緊急事態宣言の発出等により目標未達となったが、オンライン研修への切り替え等により、R3年度は目標を達成できる見込みである。 ・WLB認定企業数についても、R3年度からはWLB推進企業の量的拡大から質的向上に重点を置いて各種事業を展開しており、目標を達成できる見込みである。 ・また、R4年度はテレワークの導入から定着までを総合的にサポートする「テレワークサポートセンター」を設置するなど、誰もが働きやすい多様で柔軟な働き方のいっそうの推進を図る。							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調査

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	労政福祉課労政企画班		
事業名	中小企業育児・介護等離職者雇用助成事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-4119		
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額		
	事業費①		12,100千円	8,000千円	46,500千円	-		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	-		
		委託料	0千円	0千円	0千円	-		
		補助金・交付金	12,100千円	8,000千円	46,500千円	-		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	-		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	-		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	-		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	-		
		(その他[勤労者福祉基金繰入金])	(12,100千円)	(8,000千円)	(46,500千円)	-		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	-		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	従事人員	-	
			1,679千円	1,660千円	1,746千円	-		
		職員給与費 a	1,454千円	1,438千円	1,521千円	-		
		賞与引当金繰入額 b	116千円	116千円	116千円	-		
退職手当引当金繰入額 c		109千円	106千円	109千円	-			
総コスト (①+②)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	従事人員	-		
		13,779千円	9,660千円	48,246千円	-			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	-			
事業目的	育児や介護等の理由により離職した者を雇用した企業等に助成金を支給することにより、当該離職者の再就職と新たなキャリアアップを促進する。							
事業目的の達成度を示す指標	助成金支給件数 (地域創生戦略事業KPI)	目 標	120	120	120	-	最終目標 【年度】	-
		実績(見込)	31	19	(21)	-		
		(単位当たりコスト)	(444千円)	(508千円)	(2,297千円)	-		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	-		
	女性(30~39歳)の有業率 (地域創生戦略総括KPI) ※5年ごと調査	目 標	-	-	-	-	64.0	
		実績(見込)	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	-		
		達成率(見込)	25.8%	15.8%	(17.5%)	-		
		達成率(見込)	-	-	-	-		
評価	・助成金の要件となる離職理由の把握が困難で目標件数との乖離が生じていること、また男女共同参画センターで女性就業相談室を設置し、育児・介護離職者の就業支援を実施していることから、R3年度限りで事業を廃止。							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	労政福祉課労政企画班		
事業名	中小企業育児・介護代替要員確保支援事業（平成22年度～）				連絡先	078-362-4119		
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	70,713千円	60,887千円	200,000千円	100,000千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	70,713千円	60,887千円	200,000千円	100,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔勤労者福祉基金繰入金〕）	(70,713千円)	(60,887千円)	(200,000千円)	(100,000千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			1,679千円	1,660千円	1,746千円	1,723千円		
		職員給与費 a	1,454千円	1,438千円	1,521千円	1,502千円		
		賞与引当金繰入額 b	116千円	116千円	116千円	116千円		
退職手当引当金繰入額 c		109千円	106千円	109千円	105千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		72,392千円	62,547千円	201,746千円	101,723千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	育児・介護者の休業に係る代替要員の雇用に要する賃金の一部を助成することにより、育児・介護による離職を防止し、就業継続を支援する。							
事業目的の達成度を示す指標	助成金支給件数 （地域創生戦略事業KPI）	目 標	200	200	200	100	100	
		実績（見込）	93	83	(89)	(100)		
		（単位当たりコスト）	(778千円)	(754千円)	(2,267千円)	(1,017千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
		達成率（見込）	46.5%	41.5%	(44.5%)	(100.0%)		
	女性（30～39歳）の有業率 （地域創生戦略総括KPI） ※5年ごと調査	目 標	—	—	—	—	64.0	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
評 価	<p>・ 少子高齢化を伴う人口減少が急速に進行する中、育児・介護を担うライフステージにあっても、誰もが意欲と能力に応じて就業を継続することができるよう、育児・介護休業制度及び短時間勤務制度の利用を促進し、育児・介護による離職を防止することが必要である。</p> <p>・ 助成金支給件数は、目標値を倍増したH30年度から達成率が50%を下回る状況が続いている。</p> <p>・ 各種団体やメールマガジン、ハローワーク求人企業へのダイレクトメール等を通じて事業のPRを行っているが、実態等も踏まえ、R4年度は目標件数を半減し事業推進に努める。</p> <p>・ なお、女性（30～39歳）の有業率は、前回調査（H24年：60.6%）に比べ、直近（H29）は約10ポイント増加の70.2%、特に、育児中の女性有業率は19.3ポイント増（H24：43.4%→H29：62.7%）と全国で最も高い増加幅となっており、当助成金の主な対象である女性の就業は前進している（就業構造基本調査：5年ごと調査）。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班			
事業名	楽農学校事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額		2年度決算額		3年度当初予算額		4年度当初予算額	
	事業費①	15,112 千円		16,304 千円		16,709 千円		15,705 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		補助金・交付金	15,112 千円		16,304 千円		16,709 千円		15,705 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,809千円)		(3,603千円)		(5,046千円)		(2,284千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金〕）	(1,653千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(10,650千円)		(12,701千円)		(11,663千円)		(13,421千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人
			15,118 千円		14,934 千円		15,724 千円		15,514 千円
		職員給与費 a	13,088 千円		12,938 千円		13,693 千円		13,518 千円
		賞与引当金繰入額 b	1,048 千円		1,044 千円		1,048 千円		1,044 千円
退職手当引当金繰入額 c		983 千円		952 千円		983 千円		952 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.8人		1.8人		1.8人		1.8人	
		30,230 千円		31,238 千円		32,433 千円		31,219 千円	
	[うち事業拡大分]	[986千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的	全ての県民が楽農生活を実践できる機会と場を提供するため、生きがいや生業として農業に取り組もうとする人に対して、必要な知識や技術を習得する講座を開催し、楽農生活実践者の更なる拡大を図る。								
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
	楽農生活交流人口(万人) 〔農林漁業体験施設等利用者数〕 (ひょうご農林水産ビジョン2030)	目 標	1,140	1,150	1,108	1,121	1,224		
		実績（見込）	1,108	855	(1,108)	(1,121)	【令和12年度】		
		(単位当たりコスト) 〔うち事業拡大分〕	(27 千円) [1千円]	(37 千円) -	(29 千円) -	(28 千円) -			
		達成率（見込）	97.2%	74.3%	(100.0%)	(100.0%)			
	楽農学校就農コースを修了した新規就農者数(人)	目 標	25	25	25	25	25		
		実績（見込）	15	14	(18)	(24)			
		(単位当たりコスト) 〔うち事業拡大分〕	(2,015 千円) [66千円]	(2,231 千円) -	(1,802 千円) -	(1,301 千円) -			
達成率（見込）		60.0%	56.0%	(72.0%)	(96.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民が暮らしの中で食と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、全県拠点である兵庫楽農生活センターにおいて、基礎的な栽培技術の習得から本格的な就農まで多様なニーズに応じた講座を実施することが必要である。</li> <li>・単位当たりコストは概ね一定であり、効率的かつ効果的な事業執行に取り組んでいる。</li> <li>・令和2年度の楽農生活交流人口は、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛が影響し、目標値の74.3%となった。</li> <li>・令和2年度の楽農学校就農コースを修了した新規就農者数は目標値の56%となったが、修了者16名のうち14名が就農、1名が研修継続と次代の担い手育成に大きく貢献している。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班			
事業名	ひょうご市民農園整備推進事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額		2年度決算額		3年度当初予算額		4年度当初予算額	
	事業費①	1,792千円		5,248千円		33,150千円		30,150千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	1,776千円		5,237千円		33,150千円		30,150千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	16千円		11千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(23,640千円)		(23,640千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[ ]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(1,792千円)		(5,248千円)		(9,510千円)		(6,510千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人
			2,520千円		2,489千円		2,621千円		2,586千円
職員給与費 a		2,181千円		2,156千円		2,282千円		2,253千円	
賞与引当金繰入額 b		175千円		174千円		175千円		174千円	
退職手当引当金繰入額 c		164千円		159千円		164千円		159千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
		4,312千円		7,737千円		35,771千円		32,736千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的	農業体験や農山村地域との交流を通じ、県民が食と「農」に親しむライフスタイル「楽農生活」の実践の場として、市民農園の整備を推進するとともに、市民農園を核とした利用者相互の交流を深める地域コミュニティづくりの推進等を図る。								
事業目的の達成度を示す指標	登録市民農園数 （地域創生戦略アクションプラン）	指標	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		実績（見込）		—	411	415	419	427	
		（単位当たりコスト）		(11千円)	(19千円)	(92千円)	(78千円)	【令和6年度】	
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
	楽農生活交流人口(万人) [農林漁業体験施設等利用者数] (ひょうご農林水産ビジョン2030)	指標	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		実績（見込）		1,140	1,150	1,108	1,121	1,224	
		（単位当たりコスト）		(4千円)	(9千円)	(32千円)	(29千円)	【令和12年度】	
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
達成率（見込）		97.2%	74.3%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	・農業体験を希望する都市部住民に対して、より身近な農業体験の実践の場として市民農園を整備することが、県民が「食」と「農」に親しむ楽農生活や都市農村交流への気運の醸成を図るうえで有効である。 ・多様な実施主体を対象に助成し、着実に効果を上げる中、事業コストも効率的な負担に努めている。 ・目標達成できるように、効率的かつ効果的な事業展開を図っていく。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	都市農村交流バス運行支援事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	10,619千円	3,288千円	12,586千円	7,547千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	10,619千円	3,288千円	12,586千円	7,547千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(1,644千円)	(0千円)	(7,547千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[R1地域創生基金] [R3中山間基金]）	(10,619千円)	(0千円)	(12,586千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(1,644千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
			840千円	830千円	874千円	862千円			
		職員給与費 a	727千円	719千円	761千円	751千円			
		賞与引当金繰入額 b	58千円	58千円	58千円	58千円			
退職手当引当金繰入額 c		55千円	53千円	55千円	53千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人				
		11,459千円	4,118千円	13,460千円	8,409千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的	農林水産業・農山漁村への理解を促進するため、都市農村双方向の交流に資する都市農村交流バスの運行支援に要する経費を補助することにより、都市農村交流の推進を図る。								
事業目的の達成度を示す指標	楽農生活交流人口(万人) [農林漁業体験施設等利用者数] (ひょうご農林水産ビジョン2030)	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		目 標		1,140	1,150	1,108	1,121	1,224	
		実績（見込）		1,108	855	(1,108)	(1,121)	【12年度】	
		(単位当たりコスト)		(10千円)	(5千円)	(12千円)	(8千円)		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率（見込）		97.2%	74.3%	(100.0%)	(100.0%)			
	都市農村交流バス乗車人数(人) (兵庫県地域創生戦略)	目 標		12,500	10,000	10,000	6,250	6,250	
		実績（見込）		9,874	1,400	(1,600)	(6,250)	【4年度】	
		(単位当たりコスト)		(1千円)	(3千円)	(8千円)	(1千円)		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率（見込）			79.0%	14.0%	(16.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民が暮らしの中で食と「農」に親しみ、収穫の喜びや自然とのふれあいを通じて、ゆとりとやすらぎを実感できる「楽農生活」を推進するため、農村部と都市部との相互交流の推進が必要である。</li> <li>・令和2年度の楽農生活交流人口は、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛が影響し、目標値の74.3%となった。</li> <li>・乗車人数については、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛が影響し、減少傾向となっている。</li> <li>・近年は旅行形態が団体から個人へシフトしてきていることや、新型コロナウイルスの影響によりバス旅行に対する需要が減少傾向にあることから、バス借上費への補助による支援は廃止することとした。ただし、コロナの影響により需要の落ち込んだ地域観光への支援事業を実施していることを踏まえ、令和4年度については激変緩和措置として、台数をコロナ前の半分（250台）に縮減して実施し、令和5年度に廃止する。</li> <li>・今後は「児童・生徒、教諭向けの食育や農業体験機会の提供」や「NPO法人等が企画する都市農村交流事業に対し引き続き補助」を行うほか、県内の農林水産業体験・交流を推進している市町及び地域の団体が構成される「ひょうごふるさと交流推進協議会」での取組や情報発信等を通じ、農山漁村の活性化を図っていくとともに、交流人口増加のための新たな取組を検討していく。</li> </ul>								
3年目の見直し	-								



事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班		
事業名	地域楽農生活センター開設支援事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-9198		
事業に要するコスト	区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額		
	事業費①		968千円	1,482千円	10,680千円	8,134千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	968千円	1,482千円	10,680千円	8,134千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(484千円)	(741千円)	(5,340千円)	(4,067千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[地域創生基金]）	(484千円)	(741千円)	(5,340千円)	(4,067千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人		
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	2,586千円		
	職員給与費 a	2,181千円	2,156千円	2,282千円	2,253千円			
	賞与引当金繰入額 b	175千円	174千円	175千円	174千円			
退職手当引当金繰入額 c	164千円	159千円	164千円	159千円				
総コスト（①+②）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人			
		3,488千円	3,971千円	13,301千円	10,720千円			
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	楽農生活に係る情報発信、農業体験や野菜栽培講座の開催等を通じて、「農」の学びや体験の場の展開に取り組む市町等に対して、活動経費の一部を補助することにより、地域における楽農生活の推進拠点（地域楽農生活センター）の開設を支援し、楽農生活実践者の拡大を図る。							
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
	楽農生活交流人口(万人) [農林漁業体験施設等利用者数] (ひょうご農林水産ビジョン2030)	目 標	1,140	1,150	1,108	1,121	1,224	
		実績（見込）	1,108	855	(1,108)	(1,121)	【12年度】	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(3千円)	(5千円)	(12千円)	(10千円)		
		達成率（見込）	97.2%	74.3%	(100.0%)	(100.0%)		
	地域楽農生活センター開設箇所数	目 標	3	5	3	6	10	
		実績（見込）	2	1	(1)	(6)	【4年度】	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(1,744千円)	(3,971千円)	(13,301千円)	(1,787千円)		
		達成率（見込）	66.7%	20.0%	(33.3%)	(100.0%)		
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫楽農生活センターと連携し、楽農生活に係る情報発信、楽農生活推進に資する体験イベントや野菜等栽培講座の実施など、県下各地域で「農」の学びや体験の場の創出を支援することにより、楽農生活実践者の拡大を図る上で有効である。</li> <li>・地域楽農生活センター開設者にも応分負担を求めており、事業コストは適正である。</li> <li>・令和2年度の楽農生活交流人口は、新型コロナウイルス感染症の流行による外出自粛が影響し、目標値の74.3%となった。</li> <li>・令和2年度・3年度の開設箇所数は、新型コロナウイルス感染症の流行により、当初予定していた栽培講座や体験イベントが中止や延期となり、目標値の20%、33.3%となった。</li> </ul>						
3年目の見直し		新型コロナウイルス感染症の拡大により過密な環境で暮らし働くこと、また、半農半Xなど非従来型の働き方への注目などから田園回帰の機運や身近な食と「農」への関心が高まっており、楽農生活体験の裾野を拡大する施策展開が必要である。 令和4年度からは現在の実施主体（市町・JA）のほか、栽培講座等の実施に意欲のある市民農園運営者等を対象者に加え、目標の10箇所設置（県内各圏域に1箇所設置）に向けて、事業を継続する。						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班				
事業名	競技スポーツ振興事業（平成19年度～）		連絡先	078-362-9446				
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	223,027千円	124,485千円	225,761千円	203,185千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	223,027千円	124,485千円	225,761千円	203,185千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[ ]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	223,027千円	124,485千円	225,761千円	(203,185千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
			3,359千円	3,319千円	3,494千円	3,448千円		
		職員給与費 a	2,908千円	2,875千円	3,043千円	3,004千円		
		賞与引当金繰入額 b	233千円	232千円	233千円	232千円		
退職手当引当金繰入額 c		218千円	212千円	218千円	212千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人			
		226,386千円	127,804千円	229,255千円	206,633千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	<p>第2期兵庫県スポーツ推進計画の基本理念『「する・みる・ささえる」スポーツの参画を通して、「躍動する兵庫」の実現を目指す』のもと、県内スポーツ団体（プロスポーツ団体等）の有する人的財産（トップアスリートやトップコーチ等）を活用して国体選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。</p> <p>また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。</p>							
事業目的の達成度を示す指標	国民体育大会天皇杯順位（男女総合成績） （スポーツ推進計画）	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】
		目 標		8	8	8	8	8
		実績（見込）		13	中止	中止	(8)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]		-	-	-	-	
	達成率（見込）		61.5%			(100.0%)		
	ジュニアスポーツ教室参加者数の増加 （スポーツ推進計画）	目 標		6,800	6,900	7,000	7,000	7,000
		実績（見込）		6,781	(3,980)	(7,000)	(7,000)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]		(33千円)	(32千円)	(33千円)	(30千円)	
達成率（見込）			99.7%	(57.7%)	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<p>令和3年の第76回国民体育大会については、冬季大会は実施することができたものの、本大会（三重国体）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止となった。</p> <p>令和4年の第77回国民体育大会については、冬季大会・本大会（茨城国体）ともに実施予定であり、引き続き、（公財）兵庫県体育協会及び競技団体と連携のもと、選手強化・育成に努め、天皇杯・皇后杯ともに目標達成に向けて取り組んでいく。</p> <p>各競技団体において、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いジュニアスポーツ教室参加者数が減少したが、今後も参加者数の増加を図っていく。また、令和4年度以降については、スポーツ医科学支援事業およびふるさと選手活用促進事業をより充実させ、選手の育成・強化を図るとともに、トップアスリート等を活用したスポーツ体験教室等を開催することで競技人口のすそ野拡大を図っていく。</p>							
	3年目の見直し							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」	所管課班	スポーツ振興課 神戸マラソン推進班
事業名	神戸マラソンの開催(平成23年度～)	連絡先	078-325-1430

区 分		元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額
事業費①		68,883 千円	54,635 千円	68,883 千円	68,883 千円
経費内訳	報酬・賃金	9,345 千円	9,286 千円	9,345 千円	9,345 千円
	委託料	58,455 千円	45,349 千円	58,455 千円	58,455 千円
	補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他需用費等	1,083 千円	0 千円	1,083 千円	1,083 千円
(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	(その他[ ])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	(一般財源)	(68,883千円)	(54,635千円)	(68,883千円)	(68,883千円)
人件費② (a+b+c)	従事人員	8.0人	8.0人	8.0人	8.0人
		67,192 千円	66,376 千円	69,880 千円	68,952 千円
	職員給与費 a	58,168 千円	57,504 千円	60,856 千円	60,080 千円
	賞与引当金繰入額 b	4,656 千円	4,640 千円	4,656 千円	4,640 千円
	退職手当引当金繰入額 c	4,368 千円	4,232 千円	4,368 千円	4,232 千円
総コスト (①+②)	従事人員	8.0人	8.0人	8.0人	8.0人
		136,075 千円	121,011 千円	138,763 千円	137,835 千円
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]

事業目的 兵庫県と神戸市が「元気な兵庫の実現(兵庫県)」「健康を楽しむまちづくり(神戸市)」の実現に向け、ランニングを核としたスポーツのさらなる振興を図り、震災復興の教訓・感謝と兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、フルマラソン大会を開催する。

事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】
	応募者数	目 標		40,000	40,000	40,000	40,000
実績(見込)			79,196	延期	延期	(40,000)	
(単位当たりコスト)			(2 千円)	—	—	(3 千円)	/
[うち事業拡大分]			—	—	—	—	
達成率(見込)			198.0%	—	—	(100.0%)	
ポランティア参加者数		目 標		7,200	7,200	7,200	
実績(見込)		6,851	延期	延期	(7,200)		
(単位当たりコスト)		(20 千円)	—	—	(19 千円)	/	
[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
達成率(見込)		95.2%	—	—	(100.0%)		

評価 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「密集・密接」場面の回避や、大会運営に不可欠な医事救護体制の確保など総合的に判断し、やむを得ず令和3年度の実施を見送り、令和4年11月20日(予定)に改めて「第10回神戸マラソン」を実施することと決定した。  
 ・ランナー満足度については、今年度大会中止のため、アンケートは未実施。令和4年度以降、引き続きランナーにとってより満足度の高い大会になるような大会運営等に取り組み、魅力的な大会を開催する。また、多くのランナー等に震災から復興した兵庫・神戸を体感してもらうことで国内外へ発信していくとともに、「する・みる・ささえる」スポーツの振興へとつなげていく。

3年目の見直し

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 スポーツ振興事業班					
事業名	「関西マスターズゲームズ in HYOGO」開催事業（平成26年度～）		連絡先	078-958-8012					
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	7,783千円	7,167千円	7,832千円	6,265千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	6,236千円	4,236千円	6,547千円	5,430千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	1,547千円	2,931千円	1,285千円	835千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[ ]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(7,783千円)	(7,167千円)	(7,832千円)	(6,265千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	2,586千円			
職員給与費 a		2,181千円	2,156千円	2,282千円	2,253千円				
賞与引当金繰入額 b		175千円	174千円	175千円	174千円				
退職手当引当金繰入額 c		164千円	159千円	164千円	159千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		10,303千円	9,656千円	10,453千円	8,851千円				
	〔うち事業拡大分〕	〔530千円〕	〔0千円〕	〔0千円〕	〔0千円〕				
事業目的	「ワールドマスターズゲームズ2021関西大会」の開催を機に醸成してきたスポーツ機運を継続するために、一般県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供し、更なる県民のスポーツ参加機会を拡大。								
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
			「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数	目標	80	100	100	100	—
		実績（見込）	59	29	(51)	(100)			
		（単位当たりコスト）	(175千円)	(333千円)	(205千円)	(89千円)			
		〔うち事業拡大分〕	〔9千円〕	〔0千円〕	〔0千円〕	〔0千円〕			
		達成率（見込）	73.8%	(29.0%)	(51.0%)	(100.0%)			
	成人のスポーツ実施率	目標	70.7%	73.0%	75.0%	64.0%	70.0%		
		実績（見込）	62.7%	-	(63.0%)	(64.0%)	【R8年度】		
		（単位当たりコスト）	(164千円)	-	(166千円)	(138千円)			
		〔うち事業拡大分〕	〔9千円〕	-	〔0千円〕	〔0千円〕			
	達成率（見込）	88.9%	-	(84.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・ 県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供するとともに、本県開催競技の周知に向けた広報活動を展開するなど「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた機運醸成を図るのに有効である。</p> <p>・ 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の各府県市開催競技が平成28年度に決定したことに伴い、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が行う広報と連携し、本県開催競技を中心とした関西マスターズゲームズ in HYOGOの広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。</p> <p>・ R3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、大会の中止や規模縮小が相次ぎ、目標を達成することは出来なかったが、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の再延期が決定しているため、R4年度以降も引き続きさらなる機運醸成及び参加促進をめざす。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（平成30年度～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	6,800千円	600千円	15,000千円	0千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	6,800千円	600千円	15,000千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[勤労者福祉基金繰入金]）	(6,800千円)	(600千円)	(15,000千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.0人		
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	0千円		
		職員給与費 a	2,181千円	2,156千円	2,282千円	0千円		
		賞与引当金繰入額 b	175千円	174千円	175千円	0千円		
退職手当引当金繰入額 c		164千円	159千円	164千円	0千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.0人			
		9,320千円	3,089千円	17,621千円	0千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ21 ひょうご」の魅力あるクラブづくりによる新規会員の増加及び地域住民と地域企業や大学との連携による地域活性化を目指す。また、WMG2021関西大会の参加促進のため、SC21の魅力あるクラブ作りによる地域住民の参加や、地域企業及び大学との連携による新チームの設立等、スポーツ人口の増加を図る。							
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
	地域企業及び大学とSC21との連携チームやWMG2021関西大会開催団体競技の新チーム等の設立数	目標	100	100	100	-	100	
		実績（見込）	45	3	(1)	-	【令和3年度】	
		（単位当たりコスト）	(207千円)	(1,030千円)	(17,621千円)	-		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	-		
	達成率（見込）	45.0%	3.0%	(1.0%)	-			
	成人のスポーツ実施率	目標	70.7%	73.0%	75.0%	-	75.0%	
		実績（見込）	62.7%	-	(63.0%)	-	【令和3年度】	
		（単位当たりコスト）	(149千円)	-	(280千円)	-		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	-	[0千円]	-		
達成率（見込）	88.9%	-	(84.0%)	-				
評価	<p>・本年度もSC21全県連絡協議会を通じて、全スポーツクラブに対して事業の周知および新チーム設立の呼びかけを行うことで、ワールドマスターズゲームズ2021関西への県民の参加促進及び、大会の認知度向上を図った。</p> <p>・R2年度5月からワールドマスターズゲームズ2021関西の参加申込開始される予定であったため、前年度同様の100クラブを想定し周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の自粛に伴い新チーム設立数は3件に止まった。会期が延期されたため、R3年度についても事業を延長したが、昨年度同様に各クラブの活動が自粛傾向にあったことや、会期がさらに延期されたことからチームの設立数は1件に止まっている。</p> <p>・ワールドマスターズゲームズ2021関西の会期が未決定のため、R4年度は一旦廃止するが、本事業は2021年の開催に向け2018年から実施した事業であるため、事業実施の有無や方法について再度検討を行っていく。令和4年度以降については、「関西マスターズゲームズ in HYOGO開催事業」等で生涯スポーツを推進し、競技者のすそ野拡大を図ることで、再延期となったワールドマスターズゲームズ2021関西への機運醸成を図っていく。</p>							
	3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	未来のスーパーアスリート支援事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	42,810千円	29,734千円	45,500千円	0千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	42,810千円	29,734千円	45,500千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[ ]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(42,810千円)	(29,734千円)	(45,500千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.0人			
			3,359千円	3,319千円	3,494千円	0千円			
		職員給与費 a	2,908千円	2,875千円	3,043千円	0千円			
		賞与引当金繰入額 b	233千円	232千円	233千円	0千円			
退職手当引当金繰入額 c		218千円	212千円	218千円	0千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.0人				
		46,169千円	33,053千円	48,994千円	0千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的	<p>兵庫県のスポーツ選手がオリンピック・世界選手権等で活躍し、国内大会では国体8位入賞を達成することは、県民に大きな夢と感動を与え、スポーツへの意識を高めるなど、本県のスポーツ推進に大きく寄与するもので、「元気兵庫」を象徴するものであることから、競技団体の提案型による主体的な選手の発掘からトップアスリート育成に対し補助することで、競技人口のすそ野を拡大するとともに、トップアスリート層の新たな育成・強化事業を推進する。</p>								
事業目的の達成度を示す指標	国内外で活躍する本県選手数(オリンピック等国際大会の出場者及び全日本選手権等全国大会の優勝・準優勝者) (スポーツ推進計画)	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
		目標		460	460	460	—	460	
		実績(見込)		375	85	(347)	—	【令和3年度】	
		(単位当たりコスト)		(123千円)	(389千円)	(141千円)	—		
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
	達成率(見込)		81.5%	18.5%	(75.4%)	—			
	未来のスーパーアスリート支援を実施した競技団体数	目標		20	20	20	—	20	
		実績(見込)		23	21	(16)	—	【令和3年度】	
		(単位当たりコスト)		(2,007千円)	(1,574千円)	(3,062千円)	—		
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
達成率(見込)			115.0%	105.0%	(80.0%)	—			
評価	<p>兵庫県のスポーツ選手がオリンピック・世界選手権等で活躍することは、県民に大きな夢と感動を与え、スポーツへの意識を高めるなど、本県のスポーツ推進に大きく寄与するものである。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症による感染拡大予防の観点により、国民体育大会が中止になったが、対象選手による東京オリンピック出場や世界選手権等の国際大会に向けた強化の成果がでている。 引き続き、1人でも多くの国内外で活躍する選手が輩出されるよう支援していくため、今後は「競技スポーツ振興事業」で一体的に取り組みを図っていく。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	県立美術館の元気づくり事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額				
	事業費①	7,280千円	3,388千円	7,280千円	6,946千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	7,280千円	3,388千円	7,280千円	6,946千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[美術館等配分金]）	(5,570千円)	(1,678千円)	(5,570千円)	(5,570千円)			
		（一般財源）	(1,710千円)	(1,710千円)	(1,710千円)	(1,376千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
			2,520千円	2,489千円	2,621千円	2,586千円			
		職員給与費 a	2,181千円	2,156千円	2,282千円	2,253千円			
		賞与引当金繰入額 b	175千円	174千円	175千円	174千円			
退職手当引当金繰入額 c		164千円	159千円	164千円	159千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人				
		9,800千円	5,877千円	9,901千円	9,532千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的	<p>「県立美術館活性化方策」(平成19年度策定)にもとづき、ギャラリー、ミュージアムホール、アトリエ等のギャラリー棟各施設を活用したイベントの開催や、こどものイベントの開催等により、子どもから高齢者まで幅広い層の来館を促進し、展覧会のみでなくさまざまな活動を通し、元気ににぎわいのある美術館を目指す。</p>								
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】		
			KEN-VI文化セミナー入場者数	目 標	400	400	700	700	700
		実績（見込）	2,638	198	(600)	(700)			
		(単位当たりコスト)	(4千円)	(30千円)	(17千円)	(14千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	659.5%	49.5%	(85.7%)	(100.0%)			
	学校関係団体等の入場者数	目 標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000		
		実績（見込）	10,512	3,350	(4,500)	(13,000)			
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(2千円)	(2千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）		80.9%	25.8%	(34.6%)	(100.0%)				
評価	<p>「学校関係団体等」の入場者数は、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学校団体等の受け入れの減少のため入場者数が減少しているが、徐々に増加しており、事業実施効果が高くなっている。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を注視し、感染防止対策を講じたうえで、子どもたちや美術に関心の薄い層に美術に親しむ機会をつくることにより、将来的に芸術文化に興味を持ってもらえるようにすることを重要視し、目標の達成に向けて継続的に取り組んでいく。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班		
事業名	篠山層群化石を活用した地域活性化の推進（平成18年度～）				連絡先	078-362-9434		
事業に要するコスト	区 分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	18,550千円	14,596千円	12,466千円	11,095千円			
	経費内訳	報酬・賃金	14,340千円	10,200千円	9,030千円	8,550千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	4,210千円	4,396千円	3,436千円	2,545千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[ ])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(18,550千円)	(14,596千円)	(12,466千円)	(11,095千円)		
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			840千円	830千円	874千円	862千円		
		職員給与費 a	727千円	719千円	761千円	751千円		
		賞与引当金繰入額 b	58千円	58千円	58千円	58千円		
退職手当引当金繰入額 c		55千円	53千円	55千円	53千円			
総コスト(①+②)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		19,390千円	15,426千円	13,340千円	11,957千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	丹波市・丹波篠山市に分布する下部白亜系篠山層群から産出される化石資料は学術的価値が高く、今後も多くの科学的な新知見をもたらすとともに、その研究成果は教育普及活動や地域創生事業への活用が期待されることから、化石の剖出作業の人員確保やボランティア人材登録の推進など研究員や地域ボランティアが一体となって研究・教育・地域創生に努める新たなモデルの構築を目指す。							
事業目的の達成度を示す指標	ボランティア人材の登録数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標)	目 標	50	60	68	75	合計100名	
		実績(見込)	138	156	(170)	(180)	【8年度】	
		(単位当たりコスト)	(141千円)	(99千円)	(78千円)	(66千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	達成率(見込)	276.0%	260.0%	(250.0%)	(240.0%)			
	篠山層群化石の剖出数	目 標	3,600	7,800	12,000	16,200	33,000	
		実績(見込)	5,344	9,708	(13,908)	(18,108)		
		(単位当たりコスト)	(4千円)	(2千円)	(1千円)	(1千円)		
[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
達成率(見込)	148.4%	124.5%	(115.9%)	(111.8%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石の剖出作業には熟練した技術が必要であり、篠山層群化石の調査・研究を推進していくためには、更なる人材の育成が不可欠となっている。また、事業の活性化を図る上で、ボランティアの参画は重要であるが、育成・活用する仕組みがさらに重要であり、今後もこれらの仕組みの構築を目指していく。</li> <li>予想を上回るボランティアの登録があり順調ではあるが、化石の剖出にあたっては、人材育成には多くの時間がかかるため、研修システムの見直しを図るなど効率的で安定した事業を推進していく。</li> <li>ボランティア人材の登録は最終目標を達成している。今後も篠山層群化石の調査研究とともに活用を進めるには、ボランティア人材の参画が不可欠であることから、現在の規模を維持し、安定的に育成・活用できる体制づくりを構築する。</li> </ul>							
3年目の見直し	—							



事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	文化財課文化財班		
事業名	ひょうごの歴史研究推進(平成27年度～)				連絡先	078-362-3784		
事業に要するコスト	区分	元年度決算額	2年度決算額	3年度当初予算額	4年度当初予算額			
	事業費①	11,763千円	12,025千円	10,012千円	8,910千円			
	経費内訳	報酬・賃金	6,006千円	6,033千円	6,177千円	5,737千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	220千円	220千円	220千円	700千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	5,537千円	5,772千円	3,615千円	2,473千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[ ])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(11,763千円)	(12,025千円)	(10,012千円)	(8,910千円)		
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人		
			6,719千円	6,638千円	6,988千円	6,895千円		
		職員給与費 a	5,817千円	5,750千円	6,086千円	6,008千円		
		賞与引当金繰入額 b	466千円	464千円	466千円	464千円		
退職手当引当金繰入額 c		437千円	423千円	437千円	423千円			
総コスト(①+②)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人			
		18,482千円	18,663千円	17,000千円	15,805千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的	兵庫県を語るうえで欠くことのできないテーマや、地域の特色を象徴する事象など、重要で広域的なテーマについて調査研究を推進するための「ひょうご歴史研究室」を設置し、公開講座等を実施することで、県民の郷土の歴史に関する理解を深め、文化の継承・発展に資する。							
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	元年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度目標	最終目標【年度】	
			1,000	1,000	1,000	1,000		
	公開講座等の参加のべ人数	目標	800	350	(550)	(1,000)	/	
		実績(見込)	(23千円)	(53千円)	(31千円)	(16千円)		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率(見込)	80.0%	35.0%	(55.0%)	(100.0%)		
		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	「次回も公開講座に参加したい」と回答した参加者の割合	目標	80	80	80	80	80	
		実績(見込)	80	80	(80)	(80)		
(単位当たりコスト)		(231千円)	(233千円)	(213千円)	(198千円)			
[うち事業拡大分]		-	-	-	-			
達成率(見込)		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
100.0%		100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、歴史博物館、考古博物館のほか、大学の研究者、市町文化財担当者に調査研究を委嘱することで事業コストの削減に努めてきた。</li> <li>令和2年度からスタートした「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトについて引き続き取り組み、令和3年度末に報告書を刊行する予定としている。</li> <li>公開講座等への参加のべ人数は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止や3密を避けるため募集人数を半数に制限したため、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の令和元年度を下回る結果となったが、参加者からは好評価を得て、広く地域文化遺産のすばらしさを周知できた。</li> </ul>							
	3年目の見直し	-						